



F市 夢の山々をめぐる

The City of F. — Wandering Mountains of Dreams

夏池風牙

NATSUIKE
Kazayu

2019

4.28 (日) ▶ 5.12 (日)

12:00-17:00 土日祝は19:00まで

5月9日(木)休廊



GALLERY
SUUJIN

主催／京都市立芸術大学 <http://www.kcua.ac.jp/>
企画支援／京都市立芸術大学ギャラリーデザインセンター
問合せ先／京都市立芸術大学 事務局 総務広報課 ☎ 075-334-2200
制作協力／京都・Re-Search 実行委員会

ギャラリー 崇仁 元崇仁小学校内
| 京都市下京区川端町16 | 京都駅より徒歩9分 |

F市 夢の山々をめぐる

The City of F. — Wandering Mountains of Dreams

数年前に京都市の西の端、杳掛や老ノ坂に撮影に通うことがあり、そこを舞台とする大江山酒呑童子という鬼伝説に興味を持ちました。その物語は、少し離れた京都府福知山市にも同様に存在し、舞台論争が古くから繰り返されたそうです。

2017年と2018年の夏に、福知山市にて滞在制作の機会を得て、リサーチの中で「鬼」が指すものの変遷を知りました。

鬼（おに）という呼び名は、かつての日本社会では人々に望まれる生き方があり、そこから外れる人々に対して使われることがあったようです。その望まれない性質の一つは、「移動すること」でした。

福知山市は古来より交通の要でもありました。一つの土地に、別の時代に流れ着いた文化が、解け合わずにそれぞれ定着し、異なるまなざしを投げかける。その眼差しをめぐる旅としてのパフォーマンス映像を滞在制作作品としました。

《夢の山々をめぐる》は様々な移動にまつわる文化集団を選び、その代表者達にその集団にとっての中心地と自分たちの領域が終わる象徴的な境界地を案内してもらう。案内者と部外者として代表者達は役割を交代しながらお互いの土地をめぐる、というものです。

酒呑童子伝説は、一説には境界を超えて移動する山伏たちが運んだそうです。老ノ坂から福知山へ、そして福知山から大学が移転する先の崇仁にこの作品を持ち込めることを嬉しくも不思議なことにも感じます。



《夢の山々をめぐる》(2018) 映像作品

作家プロフィール

夏池 風牙 [NATSUIKE Kazayu]

- 1984年 静岡県生まれ
- 2009年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻(漆工)修了
- 2014年 個展「繁る森の外」Gallery PARC(京都)
個展「個別のまぼろし」KUNST ARZT(京都)
- 2017年 京都 Re:search in 福知山 / 京都府アーティスト・イン・レジデンス事業
個展「月がついてくるように」同時代ギャラリー(京都)
- 2018年 大京都 in 福知山 / 京都府アーティスト・イン・レジデンス事業



京都市立芸術大学移転整備プレ事業
《教室のフィロソフィー》第9弾 展覧会情報
夏池風牙『F市 夢の山々をめぐる』

http://www.kcuu.ac.jp/event/20190428_natsuike/

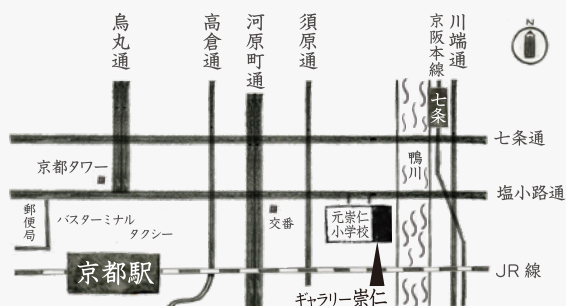
小学校の職員室であった空間が
本学学生の設計・デザインにより
ギャラリーに生まれ変わりました。



この町と、これから。
この町と、いつまでも。



京都市立芸術大学では移転整備プレ事業として、この新たな展示空間「ギャラリー崇仁」において若手作家を支援するためのプロジェクト「教室のフィロソフィー」を実施しています。このプロジェクトでは、本学を卒業、あるいは大学院を修了した若手作家を、小学校解体までの2年間、連続して紹介していきます。絵画・彫刻・デザイン・工芸等様々な専攻で学び、新たな表現を生み出そうと苦闘している作家たちが生み出した作品群からは、現代の新しいアートの息吹を感じていただけることと思います。



ギャラリー 崇仁 元崇仁小学校内 京都市下京区川端町16

JR 京都駅中央口より徒歩 9 分
地下鉄烏丸線京都駅ポルタ A3 出口より徒歩 7 分
京阪七条駅 1 番出口より徒歩 6 分
※お車でのご来場はご遠慮ください。